

おだわら紀行

FREE
ご自由にお持ちください

「おだわら紀行」

神奈川県小田原市観光ガイド

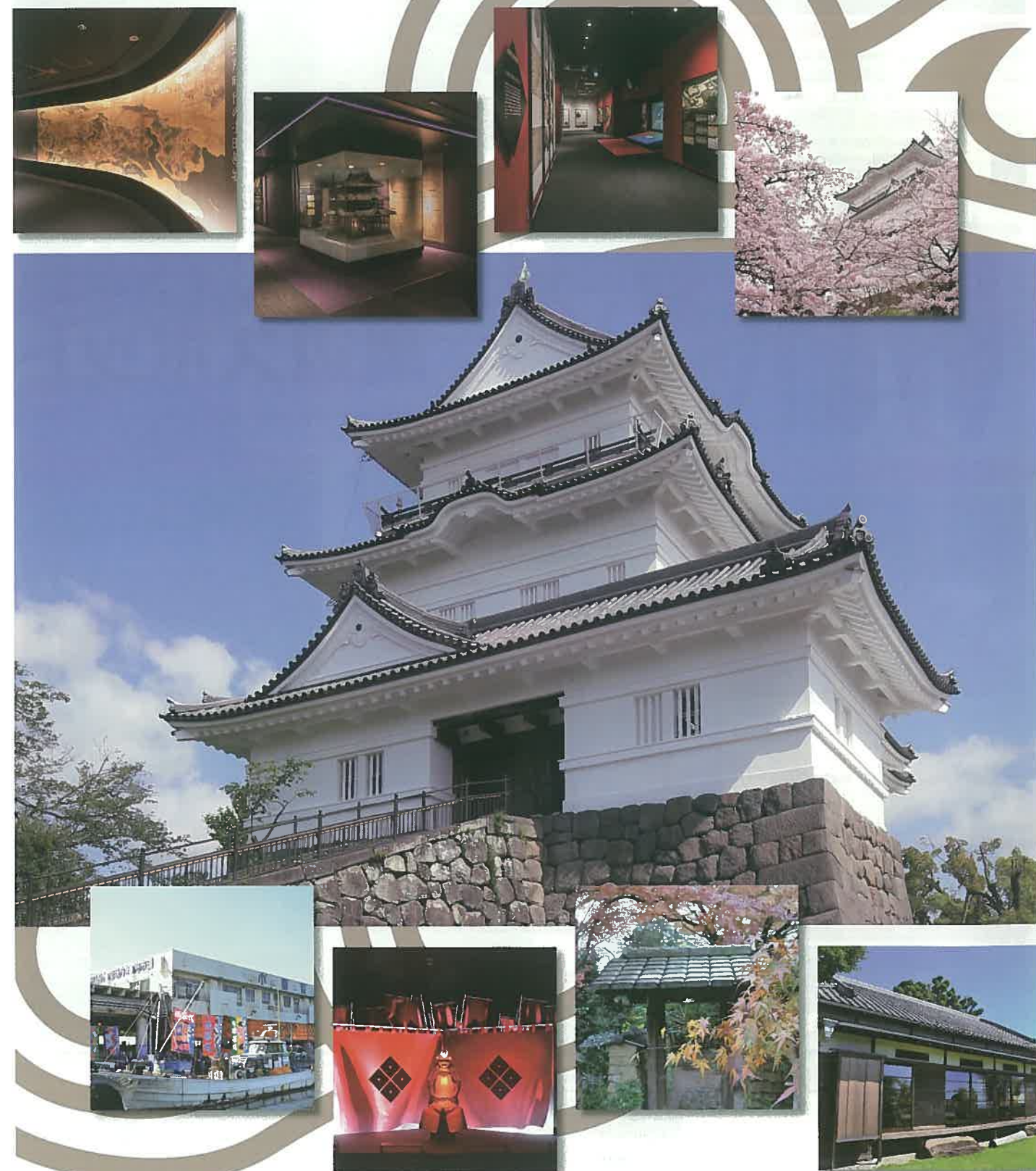
2016年11月発行

企画
発行

小田原市観光課

〒250-8555

小田原市荻窪300



このノボリが目印！

伝統正芸の器に新鮮地場食材を満載！
28店舗で展開！

※写真はイメージです

小田原どん

～地の食材を使ったどんぶりはいかがですか～

「小田原どん」は、三つのこだわりで小田原自慢の食材をおいしく調理し、遠来のお客様をおもてないたします。

- ① 小田原の海と大地で育まれた新鮮な食材を一つ以上用いること
- ② 伝統工芸品・小田原漆器の器に盛って響すること
- ③ お客様に満足していただき、小田原をもっと好きになっていただけるよう、おもてなしすること

詳しくは公式ホームページをチェック！
<http://genki-odawara.com>

街かど博物館

小田原の歴史や文化を今に伝える
街歩きスポットです。

小田原には古くから栄えた産業文化を今に伝える地域資産がたくさんあります。

工夫を凝らした展示、お客様との会話、さらには体験を通して、小田原の産業にかかわるひと・製品・ものづくりの結びつきを知ってもらうことにより、小田原の魅力を高めようとするのが「街かど博物館」です。

(現在 20 館)

名産 心と技に触れる

長い歴史と風土に磨かれた味と技の研ぎをこらえあれ。

- 蒲鉾** 江戸時代後期、漁業が盛んで豊富な水に恵まれていたことから、保存食品として発展し、東海道を行き交う人々の口伝えでその名が全国的に広まりました。今では、グチなどの魚を原料に、色・艶・弾力性のあるおいしい蒲鉾が作られています。
- 梅干** 小田原の梅干をプロデュースしたのは、戦国大名の北条早雲です。戦の際の保存食として作られたものが、江戸時代には小田原産の土産となりました。特に小田原で生まれた品種「十郎梅」を使った梅干は、果肉が厚くて柔らかく、まさに天下一品です。
- 和菓子** 戦国時代の北条氏、江戸時代の城主・大久保氏が茶の湯を好んだことから、小田原には優れた菓子職人が集まりました。近代には益田鈍翁、松永耳庵、野崎幻庵といった数寄茶人が茶会を開き、芸術品ともいべき和菓子の文化が生まれました。
- 鋳物** 戦国時代、北条氏の庇護のもと、鋳物業は盛んになりました。現在は風鈴や鈴などの鳴物や、御鈴などの仏具が主流で、その音の響きは、高い評価を得ています。
- 小田原おでん** 小田原を代表する練り製品をはじめ、地元の豊富な海の幸、山の幸を一つの鍋に凝縮したおでんです。地場産の梅を使った「梅みそ」を付けて食べるのが小田原おでん流。春に開催する「小田原おでんサミット」では、新しいおでん種を決定するコンテストも開かれています。
- 干物** 豊富な水揚げを誇る港町であったことから、江戸時代に、魚の仲買業の副業として、干物づくりが発達しました。新鮮な魚の持ち味をできるだけ活かした、うす塩づくりであることが特徴です。
- 漬物** 江戸時代、小田原の海岸には塩田が広がっており、漬物生産を支えてきました。現在でも「桜花漬」をはじめ、「古漬け」や「しその葉漬け」、新鮮なイカを使用した「塩辛」など、様々な漬物が作られています。
- ワイン** 地産農産物である梅・レモン・みかん・湘南ゴールドを使った「小田原わいんシリーズ」は、小田原市を代表する特産品となっています。お酒が苦手な方には地域振興サイダーがおすすめです。湘南ゴールド
- 木製品** 室町時代、京都のろうくろ師集団が住みついたことから、小田原の木工の歴史が幕を開けたと言われています。樺など天然木から作られる漆器や幾何学模様の魅力の寄木、自然木の色を生かした伝統工芸である木象嵌など、匠の伝統の技が現代に生きています。
- 小田原ちりめん** 江戸時代中期、提灯職人甚左衛門が考え出したといわれています。小田原提灯は普通の提灯と違い、中骨がリング状に独立しているため畳み込むことができ、持ち運びが容易です。また、霊木を使っていたことから、箱根越えのお守りとしても旅人の必需品でした。

観光お問い合わせ

- ◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/>
- ◆(一社)小田原市観光協会 ☎0465-22-5002
<http://www.odawara-kankou.com>
- ◆小田原駅観光案内所 ☎0465-22-2339
(9:00～17:00 12/31～1/1休み)

観光ガイド

- ◆NPO法人 小田原ガイド協会 ☎0465-22-8800
<http://www.odawara-gaiko.com/>
- ◆NPO法人 小田原まちづくり応援団 ☎0465-22-2834
<http://www.machien.net/>

通訳ガイド

- ◆小田原箱根SGGクラブ(小田原・箱根地区善意通訳者の会)
<http://www.ohsgg.com/>

関連サイト

- ◆富士箱根伊豆交流圏づくり(ポータルサイト)
<http://www.3pref-sky.com/>
- ◆北条五代観光推進協議会
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/hojo/>

交通アクセス

鉄道

- J R 東海道新幹線 東京 → 小田原 ……35分
- J R 東海道新幹線 新大阪 → 小田原 ……こだま3時間30分 ひかり2時間30分
- J R 東海道本線 東京 → 小田原 ……1時間25分 快速1時間10分
- J R 湘南新宿ライン 新宿 → 小田原 ……1時間30分 特快1時間10分
- 小田急ロマンスカー 新宿 → 小田原 ……1時間20分
- 小田急線快速急行 新宿 → 小田原 ……1時間25分

自動車

- 東名高速道路 小田原厚木道路 東京 → 厚木 IC → 小田原東 IC ……約1時間



小田原宿なりわい交流館

昭和初期に建てられた旧問屋をリニューアルした施設で、観光案内やまち歩きのお休み処として、ご利用いただけます。

■ 小田原駅東口から徒歩15分
■ 10:00~19:00
(11月~3月は10:00~18:00)
■ 無料
■ 12/31



鐘楼

小田原城大手門跡の石垣の上に、大正時代に移設されたもので(現在の鐘は昭和28年製)、朝夕6時に鐘を打ち、小田原のまちに時を知らせています。12/31には除夜の鐘も行います。

■ 小田原駅東口から徒歩10分



豆相人車鉄道の小田原駅跡

かつて、人が客車を押すという世界的にも珍しい鉄道が、小田原~熱海間を走っていました。当時の小田原駅は、突っ込み式の木造車庫と入れ替え用のポイントがあっただけでした。現在、国道1号沿いに駅跡を記す石柱があり、近くの十字町ヒストリアでは、当時の写真やジオラマなど人車鉄道の歴史を見ることができます。

■ 箱根登山線箱根板橋駅から徒歩10分



小田原漁港

アジをはじめとした相模湾の新鮮な魚介類が毎日水揚げされます(セリは非公開)。周辺には、鮮度が評判の飲食店が数多くあるほか、小田原ちゃんを模した白灯台もあり、休日には多くの観光客が訪れます。また、土曜日の朝は、港の朝市が開催されます。

■ JR早川駅から徒歩1分



港の朝市

■ 干物やかまぼこなど
7:00~10:00
とれたての魚
9:00~売り切れ



北条氏政・氏照の墓所

四代氏政と弟氏照(八王子城主)の墓所。お参りすると幸せな出会いがあるといわれ、願いが叶った時、鈴を納めるのが習わしとなっています。

■ 小田原駅東口から徒歩3分



北條早雲公像

千頭の牛の角に結ばれた松明が火の粉をはぜ、無血にして小田原城を手中にしたといわれる「火牛の計」を再現した像。像高5.7m、重さ7tは日本最大級です。

■ 小田原駅西口から徒歩1分

観光スポットめぐりの強い味方!!

観光案内所

各種観光パンフレットと、おすすめスポットの情報を入手して観光名所にだけましよう!各案内所には誰でも利用できるFree Wi-Fiを設置しています。接続方法やパスワード等は、各案内所入口に掲示してあります。



■ 小田原駅 JR改札前
■ 9:00~17:00
■ 0465-22-2339
■ 12/31、1/1



■ 小田原城址公園内
■ 9:00~17:00
■ 0465-22-8800
■ 12/29~1/1

まち歩きガイド

普段は見つけることができない小田原の魅力を発見できます。ガイドの内容・料金等は各団体にお問い合わせください。



NPO法人小田原ガイド協会

■ 小田原城址公園内二の丸観光案内所
■ 0465-22-8800
☆毎週土曜日曜(10:00~14:00)には、小田原駅 JR改札前で予約なしで気軽に利用できる「駅からガイド」(1人500円)を実施しています。



NPO法人小田原まちづくり応援団

■ 清閑亭
■ 11:00~16:00
■ 0465-22-2834
■ 毎週火曜日



小田原駅手ぶら観光センター

手荷物関連サービスをメインとした店舗です。手荷物の預かりやお土産の発送など、まち歩きがますます便利に!各種配送サービスも承ります。

■ 小田原地下街「ハルネ小田原」内
■ 8:00~21:00
■ 080-7776-3514
※詳しいサービスはお問合せください。



小田原宿観光回遊バス

春・夏・秋の行楽シーズンに運行。板橋・一夜城・小田原漁港を巡るルートで小田原の「見る」「食べる」「遊ぶ」を存分に楽しめます。

■ 小田原駅東口バス乗り場を始点に市内約15か所の停留所
■ 1シーズン中乗り放題500円



心地よい風を感じながら、効率よく観光スポットをめぐることができます。



■ ①小田原歴史見聞館 (小田原駅東口から徒歩10分)
■ ②小田原駅東口駐車場 (小田原駅東口から徒歩3分)
■ 1人1日 普通自転車300円
■ 電動自転車500円(4時間) 1,000円(1日)
(電動自転車の貸出場所は②のみ)
※保証金1,000円(自転車返却時に全額返金)
■ 9:00~16:30(貸出は15:30まで)
■ 0465-22-5795
■ 5/3、12/29~1/1①
■ 12/31~1/1②



小田原城天守閣

昭和35年(1960)に市制20周年記念事業として、江戸時代の姿に復興されました。最上階からは、市街地や相模湾などを一望できます。平成28年5月1日にリニューアルオープンしました。

■ 9:00~17:00(入館は16:30まで)
■ 大人500円、小・中学生200円
■ 12/31、1/1、12月第2水曜日



常盤木門



昭和46年(1971)に再建。門の傍らに立つ巨松にちなんで、その名がつけられたと伝えられています。

〈常盤木門 SAMURAI 館〉平成28年10月オープン
武士の精神性や武具の美術性にスポットを当てた展示をご覧ください。

■ 9:00~17:00(入館は16:30まで)
■ 大人200円、小・中学生60円
■ 12/31、1/1



平成9年(1997)に復元。本丸へと通じる大手筋に設けられた櫓形門です。現在、土・日・祝日限定で内部を特別公開しています。



小田原城址公園 D-6

天守閣が立つ本丸を中心とした城址公園。梅や桜などの花の名所としても知られ、市民や観光客の憩いの場になっています。

■ 小田原駅東口から徒歩10分
■ 0465-23-1373
■ 観光バス・障がい者車両駐車場あり(有料)
※一般車は周辺の有料駐車場をご利用ください。

城址公園及び周辺スポット

〈凡例〉●市街地図(P8-P9) ●全体マップ(P10-P11)

甲冑・忍者の館!小田原城情報館
甲冑・忍者・打掛の着付け体験ができます。
■ 10:00~16:00(貸出15:30まで)
■ 大人(中学生以上)300円、
■ 小人(小学生以下)200円
■ 常盤木門(本丸広場内)



平成21年(2009)に復元。
馬出門と内冠木門の2つの門を配した構造となっています。

こども遊園地
豆汽車・豆自動車などの遊具があり、小さいお子さまも楽しめます。
■ 9:00~16:30
■ 各80円
■ 12/31、1/1

小田原城歴史見聞館
小田原城の始まりから現在に至るまでの歴史を、音声や模型、映像で楽しむことができます。
■ 9:00~17:00(入館は16:30まで)
■ 大人300円、小・中学生100円
■ 12/31、1/1

小田原市郷土文化館
市内で出土した土器や石器等の考古資料や奈良時代の千代寺院跡をはじめ、小田原北条氏や小田原藩時代の資料など、小田原市の歴史を知ることができます。
■ 9:00~17:00
■ 無料
■ 12/28~1/3

御幸の浜 F-6

明治6年(1873)、明治天皇と皇后がそろって立ち寄ったことから、「御幸の浜」といわれています。元旦には、日の出とともに初泳ぎが行われ、夏は海水浴客で賑わいます。

- 小田原駅東口から徒歩15分
- 周辺の有料駐車場を利用



G-1 江之浦海水浴場

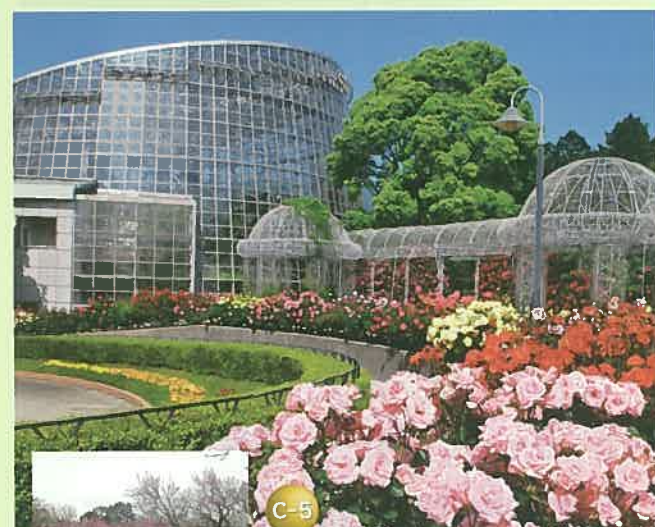
- 小田原駅東口から湯河原真鶴方面行きバス「江の浦港」下車徒歩3分
- あり(有料)



D-4 いこいの森

森林浴やバーベキュー、木工芸体験など外で遊べる施設が豊富です。夏休み期間中には、キャンプ場もオープンします。

- 小田原駅からいこいの森行きバス終点下車すぐ
- 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始
- ※キャンプ期間中は無休
- 0465-24-3785



C-5

小田原フラワーガーデン

3~5月に見頃を迎えるヒスイカズラをはじめ、300種の熱帯果樹や花が楽しめるトロピカルドームのほか、2月には約200種の梅が一面に広がる梅林、3月下旬頃からは桜、5月中旬からはバラ園、6月は花菖蒲など、四季折々の花を鑑賞できます。

- 小田原駅東口からフラワーガーデン行きバス終点下車すぐ
- 大雄山線飯田岡駅から徒歩20分
- あり(無料)
- 9:00~17:00
- トロピカルドーム 大人200円、小・中学生100円
- 月曜日(祝日の場合は翌日)、休日直後の平日、年末年始
- 0465-34-2814

遊べる、憩えるスポット

県立生命の星・地球博物館 E-3



恐竜やアンモナイトの化石展示をはじめ、地球・生命・神奈川・共生の視点から46億年の地球の歴史を紹介しています。

- 箱根登山鉄道入生田駅から徒歩3分
- あり(無料)
- 9:00~16:30(入館は16:00まで)
- 20歳以上520円、20歳未満・学生300円、高校生・65歳以上100円、中学生以下無料
- 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始、館内整備日、祝日の翌日
- 0465-21-1515

C-5 県立おだわら諏訪の原公園



里山の自然や生活文化とのふれあいを通じて、遊びながら学ぶことができる公園です。全長169mのローラーすべり台は、子どもたちに大人気です。

- 小田原駅からフラワーガーデン行きバス終点下車すぐ
- 大雄山線飯田岡駅から徒歩20分
- あり(無料)
- 3月~11月 8:30~18:00 12月~2月 8:30~17:30
- 0465-34-0404

D-4 こどもの森公園わんぱくらんど



こども列車やポニーに乗って遊べるほか、多くのアスレチックもあり、小さいお子さまも楽しめます。また、春には観桜スポットとしても賑わいます。

- 小田原駅からいこいの森(わんぱくらんど)行きバス「辻村植物公園」または終点下車すぐ
- あり510円(1日)
- 9:00~16:30
- 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始
- ※GW・夏休み期間中は無休
- 0465-24-3189

A-4

小田原御鐘ノ台大堀切



戦国時代、小田原北条氏が築いた堀で、幅が20~30m、堀底から土塁上部までは約12mあり、法面は50度という急な勾配で、全国的にも最大規模のものといえ、現在でも堀底を歩くことができます。

- 小田原駅西口から徒歩15分
- 小田原駅から水之尾方面行きバス「城山四丁目」下車すぐ

F-3

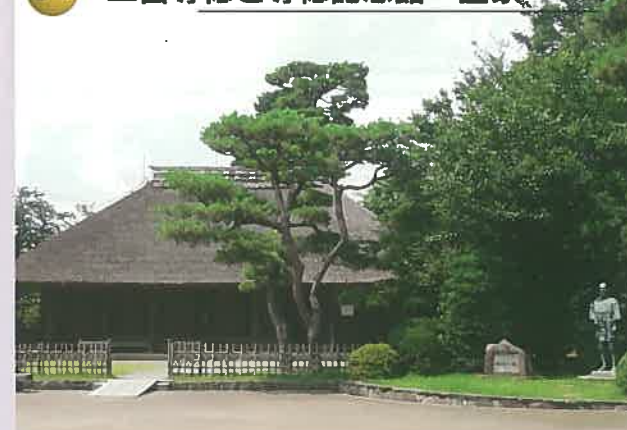
石橋山古戦場と佐奈田霊社



治承4年(1180)、源頼朝と平家の軍勢が合戦となった石橋山。佐奈田霊社は、この戦いで、壮絶な討ち死にを遂げた佐奈田一を祀っています。

- 小田原駅から江之浦・湯河原方面行きバス「石橋」下車徒歩10分
- あり(無料)
- 0465-22-8554(佐奈田霊社)

C-7 二宮尊徳と尊徳記念館・生家



江戸時代、小田原は宿場町として栄えた反面、酒匂川の洪水や富士山の噴火、大地震が相次ぎ、農民は貧困極まりない生活を余儀なくされました。そんな中、二宮尊徳は、人々の痛みを我が痛みとし、人々が幸福に生きられるよう、多くの本や体験から学んだことを行動に移し、600か所以上の町や村を復興させ、生涯を通して実践主義を貫き、農業、経済、土木など広い分野で持ち前の指導力を発揮しました。生誕の地である栢山には、生家と彼の生涯・教えを学べる記念館があります。

- 小田原急線栢山駅または富水駅から徒歩15分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(最終入館は16:30まで)
- 大人200円、小・中学生100円
- 12/28~1/3
- 0465-36-2381

石垣山一夜城歴史公園 E-3



天正18年(1590)、豊臣秀吉が小田原合戦の本営とした城の跡地。一夜のうちに城を築城したように出現させたという伝承から、この名がつけました。本丸物見台からは、小田原城下はもちろん、丹沢山系、相模湾、天気の良い日に双眼鏡を使えば東京スカイツリーも見ることができ、4~5月頃にはアヤメ科のシャガが見頃を迎えます。また、駐車場に隣接する一夜城ヨロイツカファームマルシェでは、地元の新鮮な農産物を購入できます。

- JR早川駅から徒歩50分
- 箱根登山線入生田駅から徒歩60分
- あり(無料)

久野古墳群 C-5



久野地区には、数多くの古墳が分布しており、4号及び15号墳は復元され、見学することができます。

- 小田原駅からフラワーガーデン方面行きバス「諏訪原」下車徒歩5分

D-5

めだかの学校



童謡「めだかの学校」は、作詞した茶木滋氏がこの付近で息子と交わした会話を基にして作られたといわれています。水車小屋のある親水公園として整備されています。

- 小田原駅西口から徒歩15分
- 小田原駅西口から市役所方面行きバス「税務署前」下車徒歩3分

小田原ゆかりの偉人と邸園めぐり

「邸園」とは、邸宅と庭園を合わせた造語です。かつての小田原には、この地の温暖な気候風土を愛し、近代日本の礎を築いた政治家や軍人、文化人が多く住み、上質な生活を営みました。かれらの足跡をたどり、小田原の輝きを見つけてみては。

市街地図 (P8-P9)

松永安左エ門と松永記念館・老櫓荘

明治から昭和にかけて、日本の電気事業に携わり、「電力王」と呼ばれた実業家です。古美術収集家で、茶人としても知られ耳庵と号しました。

小田原には、戦後に老櫓荘を建て、園遊会を開催するなど晩年を過ごしました。記念館には、耳庵ゆかりの品々や中河与一コレクションが展示されており、国登録有形文化財の「老櫓荘」や、野崎廣太（幻庵）の茶室「葉雨庵」なども見学・利用できます。



また、秋には、櫓をはじめ、ハゼやニシキギなど数多くの木々が黄色や紅に染まり、紅葉スポットとして親しまれています。



老櫓荘



- 箱根登山線箱根板橋駅から徒歩10分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(入館16:30まで)
- 見学は無料、貸室利用は有料(事前申込制)
- 12/28~1/3 休業
- 0465-22-3635

田中光顕と小田原文学館・白秋童謡館

土佐藩出身の武士で、坂本龍馬や中岡慎太郎は同志であり、陸援隊の副隊長として鳥羽伏見の戦いに参戦しました。維新後は警視總監、宮内大臣など政府の要職を歴任しました。



(写真提供：多摩市教育委員会)

小田原には、南欧風洋館と純和風の別邸を建設し、隠棲しました。現在、洋館は谷崎純一郎や坂口安吾など地元文学者の資料を展示する小田原文学館として、和風の別邸は、詩人・北原白秋の作品などが鑑賞できる白秋童謡館として、一般公開されています。



小田原文学館



白秋童謡館

- 小田原駅東口から徒歩20分
- 小田原駅から箱根方面行きバス「箱根口」下車5分
- あり(無料)
- 9:00~17:00(最終入館16:30まで)
- 大人250円、小・中学生100円
- 12/28~1/3 休業
- 0465-22-9881

D-5 黒田長成と清閑亭



戦国武将、黒田官兵衛以来の福岡藩主の家柄で、貴族院副議長を務め、その後枢密顧問官を任されました。

小田原には、相模灘を一望できる天神山に数寄屋風の純和風の別邸を建設しました。現在、清閑亭として一般公開されており、素晴らしい庭園を眺めながらゆっくりお茶を楽しむこともできます。国登録有形文化財として登録されています。

- 小田原駅東口から徒歩15分
- 11:00~16:00
- 火曜日、年末年始
- 0465-22-2834

D-5 やましたかめ三郎、あきやまのりき、たいしょうかく 山下亀三郎、秋山真之と対潮閣



山下亀三郎
(写真提供：山下眞一郎氏)



秋山真之
(写真提供：坂の上の雲ミュージアム)

旧山下汽船(現：商船三井)の創業者である山下亀三郎は小田原に別荘「対潮閣」を有しました。山下氏と同郷で、海軍中將として日清・日露戦争で重要な役割を担った秋山真之は、度々対潮閣を訪れており、最後も、この地で迎えました。

現在、建物はなく、跡地に石碑と説明板が立っています。

※私有地のため、立ち入りはご遠慮ください。

- 小田原駅東口から徒歩20分

C-3 やまがたありとし、こきあん 山縣有朋と古稀庵



長州藩の武士で、明治維新後は奇兵隊の軍監となりました。明治政府では、軍政家として腕をふるい、日本陸軍の基礎をつくったほか、内閣総理大臣や枢密院議長・陸軍参謀総長なども歴任しました。

小田原には、明治40年(1907)、70歳の時に別邸を構えました。現在は、保険会社の研修施設となっており、庭園が毎週日曜日に一般開放されています。

- 箱根登山線箱根板橋駅から徒歩7分
- 日曜日のみ開放 10:00~16:00
- 1人100円(全額「小田原市ふるさとみどり基金」へ寄付)

小田原市街地図 Odawara city map



凡例

- | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------|--------|------------|------|-----------|------|-------|-------|-----|
| 交番 | 消防署 | 郵便局 | 鉄道駅 | 学校 | 駐車場 | 救急病院 | 公園 | 観光案内所 | 支所等 |
| コンビニエンスストア | 銀行 | トイレ | レンタサイクル貸出所 | 神社 | 寺 | 七福神 | 周辺案内板 | | |
| AED/AED 設置場所 | 公衆無線LANサービス | 街かど博物館 | 登録有形文化財 | 名所旧跡 | 天然記念物(樹木) | バス停 | 一方通行 | | |
| 登城ルート | 城址公園アクセスルート | 旧東海道筋 | うめ | さくら | はなしょうぶ | あじさい | はす | | |

0m 100m 200m 300m

◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kankou/

◆小田原市観光協会 ☎0465-22-5002
http://www.odawara-kankou.com/

◆小田原駅観光案内所 ☎0465-22-2339

小田原観光モバイル



観光名所情報

観光イベント情報

モバイル限定のクーポンも!

あなたの携帯が
観光ガイドに!



小田原市マップ



◎観光PRキャラクター「梅丸」^{うめまる}

小田原の観光を盛り上げるために活躍中です。
観光イベントで見かけたら声を掛けてくださいね。

●生い立ち

平成元年(1989)に、市制施行50周年を記念して開催された「ときめき小田原まつり」のキャラクターとして誕生しました。小田原市の特産物である「梅」の実をモチーフにした顔立ち、赤い甲冑姿は、当時の小田原合戦400年の記念にちなんだものです。
平成26年(2014)、歴史・文化・自然・美味しい食にあふれる小田原の観光PRキャラクターとしての活動を開始しました。

●プロフィール

誕生日 5月3日
性別 男の子
特技 梅干づくり、
小田原ちゃんづくり
話し方 〜でござる



B-3

F-2

D-6

C-7

E-4

E-7

G-1

F-2

竹林の小径

飯泉観音(勝福寺)のイチヨウ

富士見の桜土手

西海子小路の桜

国立印刷局の桜

江之浦からの眺め

根府川地区のおかめ桜



箱根ジオパーク
箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市の2市3町が位置する箱根火山周辺地域は、「箱根ジオパーク」として、平成24年9月に日本ジオパークに認定されています。
(南足柄市は、平成28年9月編入)
箱根ジオパークについての詳細はこちら



湖側の駅根府川・江之浦漁港コース

天正庵跡 大徳和神社

みかんの花咲く丘と曹い海

南足柄市

桜の名所
梅の名所

久野道跡巡りコース

現訪の原・西部丘陵ウォーキングコース

狭瀬用水散策コース

太閤一夜城と長興山史跡巡りコース

石橋山古戦場・米神漁港コース

ウォーキングタウンおだわら散策コース

早川・片浦ウォーキングトレイル

湖側の駅根府川・江之浦漁港コース

狭瀬用水散策コース

石橋山古戦場・米神漁港コース
1時間20分/4.3km (JR早川駅～米神漁港)
久翁寺 早川観音 紀伊神社 佐奈田神社 石橋山古戦場
米神漁港～JR根府川駅 40分/2.5km

太閤一夜城と長興山史跡巡りコース
2時間10分/7.1km (箱根登山鉄道入生田駅～JR早川駅)
長興山観音 生命の星 地球博物館 石橋山一夜城歴史公園
小田原漁港

狭瀬用水散策コース
1時間50分/6.7km (箱根登山鉄道風祭駅～小田原駅)
萬松院 山縣水道水源池 水車小屋 めだかの学校



歴史と文化の香るまち散策コース
2時間20分/8.0km (小田原駅西口～小田原駅東口)
小徳彌子/台地切 小田原文学館・白秋堂 小田原城址公園

現訪の原・西部丘陵ウォーキングコース
風祭駅コース：2時間40分/10.3km (大雄山麓風祭駅～箱根登山鉄道風祭駅)
箱根板橋駅コース：2時間50分/11.4km (大雄山麓板橋駅～箱根登山鉄道板橋駅)
小田原駅西コース：2時間50分/11.9km (大雄山麓板橋駅～小田原駅西口)
城址公園おだわらコース：3時間10分/13.0km (大雄山麓板橋駅～小田原駅東口)

久野道跡巡りコース
2時間50分/5.7km (大雄山麓五百羅漢駅または小田原駅～小田原駅)
玉宝寺 (五百羅漢) 久野古墳群 小田原フラワーガーデン 中世集石墓
※南園バス停～小田原駅 63分4.2km

曾我の里散策コース
見聞らしコース：2時間/8.0km 里コース：1時間30分/5.5km
(JR下曾我駅～JR下曾我駅)
瑞雲寺 宗我神社 城前寺 曾我梅林

国府津・曾我の里散策コース
2時間40分/7.9km (JR国府津駅～JR下曾我駅)
曾我神社 宝金剛寺 二宮尊徳遺塚 宗我神社 曾我梅林

国府津・曾我丘陵ウォーキングコース
3時間/11.0km (JR国府津駅～JR下曾我駅)
曾我神社 五国峠 六本松跡 城前寺 曾我梅林
※途中で曾我の里散策コース(見聞らしコース)に接続

ウォーキングおだわら散策マップ!
小田原駅観光案内所等で配布中!!

お城からスタート! おすすめコース&スポット

市街地図 (P8・P9) 全体マップ (P10・P11) 街かど博物館

◆ 戦国時代体感コース ~ 気軽に「歴史」を感じる ~

スタート 8分

■ 甲冑・忍者の館! 小田原情報館 (D-6)

小田原城常盤木門で甲冑・着物を借り、小田原城をバックに撮影。ヒーローやヒロインに変身して、心は戦国時代へタイムスリップ。

☎10:00~16:00 (貸出15:30まで)
☎大人 300円 小人 200円

■ 小田原宿なりわい交流館 (F-7)

名所旧跡の案内や街歩きのお休み処として利用できる。

☎10:00~19:00 (11月~3月は10:00~18:00)
☎無料

■ 小田原駅 (B-7)

鉄道5社が乗り入れるターミナル駅。小田原駅東西自由連絡通路開通記念の一つとして設置した、高さ4.5m、直径2.5mの「巨大小田原ちゃん」がお出迎え。

ゴール 15分

ちょっと寄り道

■ 北条氏政・氏照の墓所 (C-8)

お参りすると幸せな出会いがあると言われ、願いが叶った時、鈴を納めるのが習わしの「願かけスポット」。

■ 北條早雲公像 (B-7)

小田原駅西口にある高さ5.7m、重さ7tの日本最大級の銅像。牛の角に松明を結び、大軍の夜襲に見せかけたといわれる戦術「火牛の計」を再現しています。

◆ 街かど博物館巡りコース ~ 「なりわい」「人」を感じる ~

スタート 7分

■ 小田原ちゃん製作体験 (小田原宿なりわい交流館) (F-7)

「お猿のかごや」でおなじみの小田原ちゃんをオリジナルで作ることができます。

(第2・4日曜日限定)
☎1人1,000円
☎約90分
☎小田原市観光協会 ☎0465-22-5002

■ かまぼこ・ちくわ製作体験 (かまぼこ博物館) (E-3)

小田原の伝統食品作りにチャレンジ。出来たてのかまぼこは絶品。(要予約)

☎蒲鉾・竹輪1,620円/竹輪540円
☎蒲鉾・竹輪50分/竹輪30分
※完成品を手渡すのに別途時間を要する
☎鈴廣かまぼこの里 ☎0465-24-6262

小田原駅 15分

箱根駅 7分

ゴール 0分

ちょっと寄り道

■ 街かど博物館

古くから栄えた産業文化を今に伝える「街かど博物館」。現在、小田原ならではの地場産業を中心に20館。詳しくは、背表紙へ。

梅万資料館

小田原城周辺には史跡はもちろん、江戸から箱根に続く東海道筋が今もなお歴史と伝統を受け継いでいます。この街だからこそ育まれた、なりわい・邸園・花・文化を堪能しよう。

※それぞれの名所の位置は、スポット紹介の中のマークを参照してね

◆ 漁港&浜で自然を満喫コース ~ 「海」を感じ、「食」を味わう ~

スタート 13分

■ 御幸の浜 (F-6)

1873年の明治天皇の行幸を記念し、以降「御幸の浜」と呼ばれています。

■ ひものさばき体験(ひもの体験館) (E-2)

干物の製造工程を見学・体験することができます。日曜・祝日、第2水曜日は休み。
☎1人1,100円
☎40分
☎カネタ前田商店 ☎0465-23-4741

■ 寄木コースター製作体験 (寄木ギャラリー) (E-2)

国指定伝統工芸品の寄木細工を作ってみよう!
☎1人800円
☎約30分
☎露木工所 ☎0465-22-5995

■ 小田原漁港 (F-2)

アジなど相模湾の新鮮な魚介類が毎日水揚げされる市民の台所。防波堤にある小田原提灯を模した灯台は港のシンボル。

ゴール 2分

ちょっと寄り道

■ 石垣山一夜城歴史公園 (E-3)

名前の由来となった城の石垣を見ながら散策路を進めば、小田原市街や相模湾といった絶景が一望できます。また、駐車場に隣接の「一夜城ヨロイツカファームマルシェ(農産物直売所)」は地元の味を堪能できる人気のスポット。

◆ 邸園巡りコース ~ 古き良き政財界の別邸でくつろぐ ~

スタート 8分

■ 小田原邸園交流館・清閑亭 (D-5)

城址公園で遊んだ後は、邸園を眺めながら、ちょっとひと休み…。抹茶や茶菓子を楽しむことができます。

☎11:00~16:00
☎毎週火曜日、年末年始

■ 小田原文学館・白秋童謡館 (F-4)

1937年建築。南欧風の造りで、屋根瓦はスペインから輸入したもの。庭はいわゆる洋風庭園だが、和洋折衷の様相を呈し、四季折々の美しさを堪能できます。

☎9:00~17:00 (最終入館16:30)
☎大人250円、小・中学生100円 (団体割引あり)
☎12月28日~1月3日

■ 古稀庵 (C-3)

明治の元勳・山縣有朋が1907年、70歳のときに構えた別邸。土木遺産に認定された専用水道による見事な流水庭園が往時を偲ばせます。

☎毎週日曜日10:00~16:00
☎100円

■ 松永記念館・老樗荘 (B-2)

日本の電力王と呼ばれ、実業界で活躍した松永安左衛門(耳庵)が設立した記念館。11月下旬~12月上旬は、美しく紅葉する庭園の散策を楽しむことができます。

☎9:00~17:00
☎12月28日~1月3日、燦蒸時

ゴール 8分

ちょっと寄り道

■ とうふ工房(下田豆腐店) (C-2)

独特の雰囲気がある出桁造りの建物が目印です。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
除夜の鐘 鐘樓(市民会館) 12月31日	秋葉山火防祭 秋葉山童謡院 12月6日	農業まつり 城址公園 11月第3土・日曜日	城下町おたわしデー 城址公園(全会場) 11月第3土・日曜日	一夜城まつり 石垣山一夜城歴史公園 10月中旬の日曜日	小田原おでん祭り 城址公園 10月中旬の土・日曜日	宗我神社祭礼 宗我神社 9月下旬	忍者の里風情まつり 城址公園 8月下旬	板橋地蔵尊大祭 宗福院 8月23日・24日	小田原元日初詣 御幸の浜 1月1日	板橋地蔵尊大祭 宗福院 1月23日・24日	初天神 菅原神社 1月25日
除夜の鐘 鐘樓(市民会館) 12月31日	秋葉山火防祭 秋葉山童謡院 12月6日	農業まつり 城址公園 11月第3土・日曜日	城下町おたわしデー 城址公園(全会場) 11月第3土・日曜日	一夜城まつり 石垣山一夜城歴史公園 10月中旬の日曜日	小田原おでん祭り 城址公園 10月中旬の土・日曜日	宗我神社祭礼 宗我神社 9月下旬	忍者の里風情まつり 城址公園 8月下旬	板橋地蔵尊大祭 宗福院 8月23日・24日	小田原元日初詣 御幸の浜 1月1日	板橋地蔵尊大祭 宗福院 1月23日・24日	初天神 菅原神社 1月25日
除夜の鐘 鐘樓(市民会館) 12月31日	秋葉山火防祭 秋葉山童謡院 12月6日	農業まつり 城址公園 11月第3土・日曜日	城下町おたわしデー 城址公園(全会場) 11月第3土・日曜日	一夜城まつり 石垣山一夜城歴史公園 10月中旬の日曜日	小田原おでん祭り 城址公園 10月中旬の土・日曜日	宗我神社祭礼 宗我神社 9月下旬	忍者の里風情まつり 城址公園 8月下旬	板橋地蔵尊大祭 宗福院 8月23日・24日	小田原元日初詣 御幸の浜 1月1日	板橋地蔵尊大祭 宗福院 1月23日・24日	初天神 菅原神社 1月25日

四季を彩る祭りイベント

歴史・伝統を伝える祭りから、花を愛でるイベントまで、多彩な魅力にあふれる城下町小田原。

おだわら花暦

●市街地図 (P8-P9)
●全体マップ (P10-P11)

2月

曾我梅林



富士山を背景に約35,000本の梅が咲き誇り、まち中が梅の香りにつまれます。

JR御殿場線下曾我駅から徒歩10分

辻村植物公園の梅

遅咲きの白梅の梅林があります。梅以外にも世界各国の西洋草花などを年間通して観賞できます。



小田原駅からいこいの森(わんぱくランド)行きバス「辻村植物公園」下車すぐ

フラワーガーデンの梅林

※詳細は5ページ参照

4月下旬～5月上旬

御感の藤とツツジ



大正天皇を感嘆させたということから「御感の藤」と呼ばれており、小田原市指定天然記念物に指定されています。その周囲を包むように咲くツツジとあわせて楽しめます。

小田原駅東口から徒歩15分

東栢山の菜の花畑

地元の団体が、収穫後の田んぼに菜の花の種をまき、春には一面が菜の花畑となります。



小田急線栢山駅または富水駅から徒歩10分

10月下旬～11月下旬

ざる菊



久野の鈴木さん宅では、毎年ざる菊園として敷地を開放しています。小菊が重なり合い、ざるを伏せたような形をつくる色とりどりのざる菊が園内を彩ります。

小田原駅東口から小田原フラワーガーデン行きバス「ざる菊園前」下車すぐ

3月下旬～4月上旬

長興山紹太寺のしだれ桜



江戸時代藩主稲葉正則が植えたといわれており、小田原市指定天然記念物に指定されています。

箱根登山鉄道入生田駅から徒歩20分

A-4 城山公園



城山公園

D-6 城址公園



沼代桜の馬場

E-9 沼代桜の馬場

※そのほか、多くの観桜スポットがあります。

6月

D-6 あじさいと花菖蒲



小田原城東堀には、約6,000株の花菖蒲と約2,100株のあじさいを併せて楽しむことができます。夜にはライトアップにより幻想的な花々を観賞できます。

小田原駅東口から徒歩10分

7月中旬～8月中旬

D-6 ハス



小田原城南堀に群生し、夏の風物となっています。

小田原駅東口から徒歩10分

5月中旬～12月下旬

◎フラワーガーデンのバラ園

詳細は5ページ参照

11月下旬～12月上旬

◎松永記念館・老樺荘の紅葉

詳細は7ページ参照

北条五代



明応4年(1495)、関東で理想の国家をつくらうと、大森氏を退け、北条早雲が伊豆・鎌倉から小田原城に入り、二代氏綱が関東支配の礎を築き、以後、北条氏は小田原を拠点として、多くの人材を上方から招き、産業を興し、着々と勢力を伸ばしていきまし。三代氏康の時代には城下町の形態も整えられ、小田原は関東における政治、経済、産業、文化の中心として繁栄しました。そして、天下統一の機運が高まる中、四代氏政・五代氏直は、豊臣秀吉軍の攻撃に備えて町全体を取り囲む巨大な総構を築きましたが、天正18年(1590)、約20万の大軍に小田原を包囲され、約100日に及び籠城戦の後、小田原城を開城し、北条氏は滅亡しました。

現在、北条氏にゆかりのある10市2町が連携し、戦国時代、五代百年にわたって領国を安寧に統治した北条五代のさまざまな偉績や魅力を全国に広く紹介し、大河ドラマ化を目指した活動を展開しています。



小田原合戦時の小田原城(想像図)CG ©成瀬 京司

f はこちら



「北条五代」を大河ドラマに!

北条五代観光推進協議会

ホームページはこちら



風魔忍者



風魔小太郎

風魔とは、群雄割拠の戦国時代に北条早雲から五代約百年にわたって、小田原城を拠点に八州を治めた北条氏に仕えた忍者の一族で、代々頭領は「風魔小太郎」と呼ばれていました。毎年、8月には「忍者の里・風魔まつり」(2月22日には「忍者の日」としてイベント等を開催し、風魔忍者の周知にも力を入れています。



幅広い世代に北条五代に親しみをもってもらうため、北条五代およびその家臣のキャラクターを作成しました!

北条五代PRキャラクター完成!